

といる通信

2019年07月

第84号(文月)

皆さま、どうもこんにちは！という木曜日スタッフの川澤岳也(カワザワ・タケヤ)です。今月もよろしく願います！

とりあえずですが、今回のという通信は各曜日のというスタッフの紹介から始めさせていただきます。今、居場所「といる」は、月曜日担当が西尾真之介(にしおしんのすけ)さん。火曜日担当が森孝誠(もりこうせい)さん。木曜日が私、川澤岳也(かわざわたくや)、そして、土曜日担当が谷岡恭(たにおかきょう)さんとなっております。各人とも、元ひきこもり当事者です。皆様、どうぞよろしく願います！「こんなこと書くと何ですが、私とか、今の生活をしていて、「ひきこもりからの脱出、道半ばだな・・・。」と言った感じが強いです。確かに社会

参加の場が与えられ、居場所スタッフと言った形で働かせて頂くことも出来ているのですが、何分回復には上限がないんですよ(注この考え方はといる先代スタッフの方から頂きました)。というスタッフが休みの曜日の時、家にいると「あ、またひきこもりの感覚が戻って来てる・・・。」と思うことが良くあります。一人で部屋にいとドンドンドンドン沈んで行っちゃうんですよ。ひきこもり当事者のための居場所に通うって、そこから一歩踏み出すために重要な意味があると思うのですが、最初のアプローチに入るのにはなかなかハードルが高いですね。私自身、こんなことを書いてますが、自分を振り返ってみてもそうでした。この「元・ひきこもり」感覚は一生付きまとうのかも知れません。どうにかして前向きになりたいものですね。

それはさておき、次の話題はこちらから行ってみたいと思います。皆様、どうかこの写真を御覧下さい！



「うわっ、またこのパターンかよ！」と思われた方、ゴメンナサイ！そうです、今回、今年公開のハリウッド版ゴジラの新作の上映に、封切り日(2019年5月31日)に行つてまいりました！それもちゃんと初回上映に合わせました！で、どうだったかと言つと・・・これからグダグダ入ります。読みたくない方はどうぞスルーして下さい。日本製のゴジラについて思い入れたっぷりに書いてあります。よって今回の映画についてのレビューからは若干ずれている内容かもしれせん。悪しからず・・・。

渡辺謙がいい仕事をしていたのは大いに認めます。お金がたっぷりかかっている贅沢な作りなのも解ります。で、それ以上に何かあるかと言つと、うーん、うーん、答えがすぐに出てきません・・・(オイオイ)。以降、ほぼ愚痴です。帰りしなに他の観客が話していた感想が聞こえてきたのですが、「怪物がこわくないよね・・・。」といった意見がありました。他にも(これは自分の意見です)、劇中に出てくるモスラの幼虫が、『スターシップ・トゥルーパーズ』(分かります?)の昆虫みたいなデザインだったり、初代ゴジラのオチに関わる超兵器が登場するが、日本版と演出が違っていて、妙に小ネタで見せ方が下手だったりとか、色々突っ込みどころがあります。監督が日本のアニメ・特撮や漫画などが好きなのは判るんですが、それだけで作っても「じゃあ、日本発の作品群を見てれば？」となってしまう訳で、今一つオリジナリティが感じられませんでした。『シン・ゴジラ』に刺激されて作って、

〈B面に続く！〉

〈A面からの続き〉

ちょっと失敗しちゃったのかな?とか思いました。『シン・ゴジラ』も日本人に受けたただけで海外ではヒットしなかった、という話があります。伏線の張り方とかは日本の『ゴジラ』に見習ってほしいと思います。まあ、『シン・ゴジラ』が高度過ぎたのかもしれないが。でも悲しいかな、ごく普通のお客さんなら、これで満足しちゃうのかな?とは思いました。以上、怪獣映画好きの放言でした。『キングコング 髑髏島の巨神』は面白かったですけどね。日本の映画監督が劇場公開時にけなしまくって、映画館では観られなかったの、「どんな内容かな?」と思ってDVDで観たら良い作品だったので、食わず嫌いは失礼だな・・・、と思いました。

お題は、マスターグレード(以下MG)RX-78-2 ガンダムVer2.0です。過去に一回作ったのですが、某所に持ち込んで結果捨てられてしまったので(大泣き)、改めて製作することにしました。買ってきてから、目先を変えるためG-3(RX-78 ガンダムシリーズの三号機のこと。灰色の機体色が特徴。ファーストガンダムの小説版に登場)にした方が良かったかな?とか思いました。完成は何時になるかわかりませんが、気ままに作っていいと思います。ちなみに、某模型店の次回の作品展のテーマが発表されたのですが、一般モデラー部門のお題が、何と「ジオラマ(情景模型)」でした。それで腰が引けちゃって、今度の製作・出品は見送ろうと思ってます。本当はガンガン作った方がよいのですが、何分製作条件が整ってないのと、予算が厳しいので、パスした方が賢明かなと考えてます。次のチャンスを待つつもりです。

〈では皆様、また来月!〉
居場所「という」の所在地は

〒781-5102 高知市大津甲969-3です。TEL・FAXは088-881-2350 (注目!電話番号が変わりました!) メールアドレス skatoiro1016@gmail.com (こちら注目!というのネット環境改変に伴い、メールアドレスがこちらのGメールに一本化されました。何卒お間違えの無いようよろしく願います!) 相談メール・友達メール・お尋ねメール何でもOKです。フェイスブック上でも展開してます!

へというスタッフからのお願い・初めて来所される方はどうぞお読みください

というは月・火・木・土曜日の午前10時から午後4時までの間オープンしています(注目!開所曜日が一部変更になりました!)。もちろん、アポなしでの来所も構いませんが、出来れば来る前に居場所にお電話いただけると助かります。というの近くまで来てくれたら迎えに行くことも出来ます。一度試しに覗きにおいでしてくれたらと思います。最寄りのおときでん交通電停は「領石通」



です。お菓子と飲み物など(麦茶・ジュース類)があります。漫画本コーナーもあります! (『シヨシヨの奇妙な冒険』『幽遊白書』『ベルセルク』等が置いてます。『シヨシヨ』は1・2部と4・5部が揃ってます。「ベルセルク」は一部不揃いな巻があります・・・。少女漫画の「のだめ力ンタービレ」もありますよ。以前話題に出した「健康で文化的な最低限度の生活」も7冊揃ってます。おっと、司馬遼太郎著「竜馬がゆく」文庫版全八冊も置いてます!) (私の旅のヒトコマ 神奈川県鎌倉の風景 鶴岡八幡宮前)